

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ソロル、アンビシャスの競走馬登録抹消

2014年マーチS(GⅢ)などの勝ち馬ソロル(牡7歳/栗東・中竹和也厩舎)は、9月22日(金)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績41戦9勝・地方2戦0勝で、今後は北海道安平町の追分ファームリリーバレーで乗馬となる予定です。2016年産経大阪杯(GⅡ)などの勝ち馬アンビシャス(牡5歳/栗東・音無秀孝厩舎)は、9月23日(祝・土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績16戦5勝で、今後はオーストラリアへ移籍する予定です。

●競馬学校で騎手課程34期生の模擬レースを公開

10月5日(木)、JRA競馬学校(千葉県白井市根835-1)において騎手課程34期生による模擬レースが一般公開されます。開場は12時で、来年春のデビューを目指す騎手課程生徒3名に現役ジョッキー3名を加えて2レースが実施されるほか、生徒紹介インタビューやトークショー、駅弁フェア、ミニチュアポニーとの記念写真撮影会などの各種イベントも予定されています。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング

I F H A (国際競馬統括機関連盟)から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表は2017年1月1日から9月10日までに施行された世界の主要レースが対象で、新たに英インターナショナルSなどが含まれますが、前回までに引き続きアロゲート(134)が首位、ウィンクス(132)が第2位をキープ。日本調教馬も前回と同じ4頭が掲載され、キタサンブラックとサトノクラウンが第19位タイ(121)、レイデオロとサトノダイヤモンドが第30位タイ(120)となっています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●日本テレビ盃でアポロケンタッキーが東京大賞典以来の勝利

日本テレビ盃(JpnⅡ、9月27日、船橋、1800^米)は、3番手から残り50^米で先頭に立った4番人気のアポロケンタッキー(内田博幸騎手、牡5歳、父ラングフル)が、3番人気のサウンドトゥルーをクビ差抑えて優勝。1番人気に推されたケイティブレイブは更に $\frac{3}{4}$ 馬身遅れの3着、逃げた2番人気のモーニンは4着でした。

●コーリンベリーらが参戦、10月4日の東京盃(大井)

東京盃(JpnⅡ、大井、1200^米)は、コーリンベリー、ニシケンモノノフ、昨年の覇者ドリームバレンチノ、ブルドッグボス(浦和)、ショコラブラン、ナックビーナスの順に有力視されます。

●10月5日のレディスプレリユード(大井)にホワイトフーガが登場

レディスプレリユード(JpnⅡ、大井、1800^米)は、実績上位のホワイトフーガに時折取りこぼしがあるため、クイーンマンボ、アンジュデジュール、サルサディオオーネの3歳勢や、マイティティアーにもチャンスがありそうです。

●インカンテーションらが出走、10月3日の白山大賞典(金沢)

白山大賞典(JpnⅢ、金沢、2100^米)は、インカンテーションが一応中心、以下クリノスターオー、コパノチャーリー、カツゲキキト(愛知)、タガノディグオ、ナムラアラシマで争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●米G1ペンシルベニアダービー～ウエストコーストが圧勝

今年G1に昇格したペンシルベニアダービー(ダート9^フ)が9月23日に米ペンシルベニア州のパークスレーシング競馬場で行われ、2番手追走から3コーナー過ぎで早くも先頭に立ったウエストコースト(牡3歳、父フラッター)が直線で差を広げて7馬身 $\frac{1}{4}$ 差で圧勝。単勝1.9倍の1番人気に応えました。2000年の米最優秀2歳牝馬カレッジを母に持つウエストコーストはこれで5連勝。3馬身 $\frac{1}{4}$ 差で逃げ切った前走のG1トラヴァーズS(ダート10^フ)に続くG1制覇となりました。勝利騎手はM.スミス、同調教師はB.バファートです。

●日本産馬サクソソウォリアーが英ダービー1番人気に浮上

9月24日に愛ネース競馬場でG2ベレスフォードS(芝8^フ)が行われ、父がディーピンパクト、母は2011年の欧州最優秀2歳牝馬メイビーという良血の日本産馬サクソソウォリアー(牡2歳、A.オブライエン厩舎)がR.ムーア騎手を背に5頭立ての3番手追走から直線で抜け出して2馬身半差で優勝。8月27日のデビューから2連勝で重賞初制覇を果たしました。この勝利を受けて、ブックメーカーの中には7倍ほどのオッズをつけて来年のG1英ダービーの1番人気に推すところも出ています。